

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	青年心理学 (Adolescent Psychology)	授業コード	E045801
担当教員名	高橋 淳一郎	科目ナンバリングコード	E21008
配当学年	2	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	ピアヘルパーの資格取得を目指す学生は必ず履修してください。		
受講心得	遅刻、講義中の携帯電話の使用、おしゃべり、無断外室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーは守って履修してください。 自分の今までとこれからの生き方を考えるきっかけとなるように積極的に参加してください。		
教科書	指定しない		
参考文献及び指定図書	発達心理学(上・下) 山内光哉(編) ナカニシヤ出版 エピソードでつかむ青年心理学 大野 久(編著) ミネルヴァ書房		
関連科目	心理学、臨床心理学、社会心理学、精神保健学、児童心理学、老年心理学		

授業の目的	人は一生涯を通じて成長発達を続けるものです。この講義では特に乳児童期後半から青年期、成人期の入り口まで人間がどのように変化し、様々な能力を身に付けていくのかということを中心に学んでいきます。その中でこれまでの自分を見つめなおし、これからの自分の姿と生き方を想像できるようになってもらいたいと考えています。
授業の概要	この講義では小学校高学年から成人するくらいまでの、いわゆる「子どもでも大人でもない時期」における成長発達を中心にお話していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション・青年心理学とは 青年心理学とは何か、青年期とは生涯発達の中でどのような意味を持つのか考えていきます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第2週：青年期の心理的発達と人間関係の発達 青年期における身体的・認知的・自我の発達および社会的環境について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第3週：青年期の人間関係の発達にかかわる理論 エリクソンやハヴィガーストをはじめとした理論を中心に、青年期における人間関係に言及した理論を学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第4週：親離れから異性との親密な関係の成立まで① 親離れをすることの意味と発達的な課題について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第5週：親離れから異性との親密な関係の成立まで②	

友人関係から異性との親密な関係が成立することの意味と発達的な課題について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第6週：親離れから異性との親密な関係の成立まで③ 親離れにおける現代的な課題について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第7週：人間関係の発達と対人感情① 青年期の人間関係の発達の意味について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第8週：人間関係の発達と対人感情② 人間関係における他者および自己への対人感情の発達について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第9週：人間関係のつまづきと病理① 青年期における人間関係のつまづきの典型的な事例について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第10週：人間関係のつまづきと病理② 人間関係のつまづきが原因となる心理病理について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第11週：青年期の人間関係の現代的課題① 現代の青年がどのような人間関係を形成しているのか、その特徴と課題を学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第12週：青年期の人間関係の現代的課題② 現代における青年期の人間関係がどのような問題をはらんでいるのか学んでいきます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第13週：新たな家族の誕生—恋愛・結婚・子の誕生まで① 成人し、恋愛から結婚までの発達と、結婚をめぐる現代的な課題について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第14週：新たな家族の誕生—恋愛・結婚・子の誕生まで② 子の誕生と、出産をめぐる課題について学びます。	リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分

第15週：社会参加に伴う新たな人間関係 自立することと、社会に参加することによって生じる新たな人間関係について、その現代的課題を学びます。		リアクションペーパーの提出 指定図書を用いた予習60分 講義内容の復習30分
第16週：期末試験 これまでの内容について論述形式の試験を実施します。自筆ノートおよび講義内に配布したプリントは持ち込み可とし、試験時間は60分です。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①児童期後半から成人期の入り口までの発達について概観できる。
【知識・理解】	②人間の発達段階とそれぞれの発達課題について理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③青年期の特長を説明できる。
【思考・判断・創造】	④自らのこれまでの成長発達について理解し、それに対する親の関わりを考えることができる。 ⑤これからの自分の発達について想像し、必要な準備ができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点	5点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	15点	5点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	5点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点	5点	5点	

(「人間力」について)
 ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安

レポート・作品等 (提出物)	<p>毎回の講義の最後にリアクションペーパーを提出してもらいます。その内容について点数化し、評価に加えます。評価方法は以下の通りです。</p> <p>A 講義の内容をよく理解し、振り返りながら自分の考えをしっかりと述べている。 B 講義の内容をよく理解し、振り返ることができる。 C 講義の内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 D 講義の内容を一部理解し、振り返ることができる。</p> <p>なお、記載された内容(質問等)については、必要に応じて次回講義の導入で振り返りを含めて触れていき、その中で質問に回答します。</p>
発表・その他 (無形成果)	<p>出席点を20点満点とし、1回の欠席ごとに2点を減点する方式で評価に取り入れます。</p>